

一定の投資性金融商品の販売に係る

2025年9月30日

重要情報シート（個別商品編）

アクティブ運用型 E T F

1 商品の内容

当社は、お客さまに上場有価証券の売買の取次ぎを行っています

金融商品の名称・種類	SMDAM Active ETF 日本グロース株 (349A)
組成会社 (運用会社)	三井住友DSアセットマネジメント株式会社
販売会社	S M B C 日興証券株式会社
金融商品の目的・機能	主として、日本の取引所に上場している株式のうち、中長期にわたり、持続的に利益成長が可能でかつその確度が高いと評価する企業に投資を行い、TOPIX (東証株価指数、配当込み) をベンチマークとして、中長期的にベンチマークを上回る投資成果を目指して運用を行います。株式への投資にあたっては、有望市場に着目し、重点的な企業調査を通じた分析により銘柄を選別します。なお、ファンドはアクティブ運用型ETFであり、特定の指標に連動する投資成果を目指すものではありません。
商品組成に携わる事業者が想定する購入層	<p>この商品は、主要投資対象や運用内容について十分な知識や投資経験を有する、あるいは説明を受け商品内容および以下の事項を理解していただける、中長期での資産形成を目的とする投資家の投資を想定しており、元本割れリスクを許容する投資家向けです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■アクティブ運用型 E T F が、指標連動型の E T F とは異なり、連動対象となる指標が存在しない商品であること。 ■ファンドにおける積極運用の結果、基準価額が相場全体の変動からでは説明できない動きをする場合があること。 ■管理会社等により日々開示されるポートフォリオ情報は、前日の基準価額算出の基礎となった情報でしかなく、当該情報から算出される一口当たり推定純資産額 (インディカティブ N A V) については、E T F の適正価格に常に一致するというわけではないこと。
顧客利益最優先の運用会社のガバナンスの確保、プロダクトガバナンスの確保の体制	<p><顧客本位の業務運営に関する取り組み> 2015年に「フィデューシャリー・デューティー宣言」を公表し、2020年には同宣言にESGを含むサステナビリティの要素を加えた「FD・サステナビリティ原則」を制定いたしました。これらは金融庁が定める「顧客本位の業務運営に関する原則」に沿ったものであり、「経営理念」および「FD・サステナビリティ原則」に則った企業経営と運用会社としての投資活動を行っております。</p> <p><コーポレートガバナンス> 資産運用会社としての独立性を確保し、実効性のあるコーポレートガバナンスを行うために、取締役の過半を株主会社出身者以外が占める態勢としております。社外取締役には、国内外の企業経営や金融経済分野に豊富な知見を有する人材を招聘し、独立した立場から経営の執行状況や株主との利益相反を監督するとともに、各々の経験や専門知識に基づき経営陣に助言を行っています。 また、取締役会の内部委員会を設置しており、社外取締役が構成メンバーとなり、適切な業務執行および公正な社内人事を行う上で重要な役割を果たしています。</p> <p><投資哲学・運用体制> 投資哲学・運用体制については、管理会社のウェブサイトでご覧いただけます。 https://www.smd-am.co.jp/corporate/investment/</p> <p><プロダクトガバナンスに対する基本方針> プロダクトガバナンスに対する基本方針、体制は管理会社のウェブサイトでご覧いただけます。 https://www.smd-am.co.jp/corporate/vision/fiduciary/product_governance.pdf</p>
パッケージ化の有無	パッケージ化商品ではありません。
クーリング・オフの有無	クーリング・オフ (契約日から一定期間、解除できる仕組み) の適用はありません。

次のようなご質問があれば、お問い合わせください

- あなたの会社が提供する商品のうち、この商品が、私の知識、経験、財務状況、ライフプラン、投資目的に照らして、相応しいという根拠は何か。
- この商品を購入した場合、どのようなフォローアップを受けることができるのか。
- この商品が複数の商品を組み合わせたものである場合、個々の商品購入と比べてそのようなメリット・デメリットがあるのか。
- この商品の運用収益に関する評価や市場環境の見通し、今後の展望等が組成会社から示されているれば、その内容を説明して欲しい。

2 リスクと運用実績

本商品は、元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります

損失が生じるリスクの内容	当ファンドの主なリスクは以下の通りです。※以下に限定されるものではありません。 ①株式市場リスク…株価の下落は、基準価額の下落要因です ②信用リスク…債務不履行の発生等は、基準価額の下落要因です ③流動性リスク…市場規模の縮小・取引量の低下により、不利な条件での取引を余儀なくされることは、基準価額の下落要因です
過去1年間の収益率	当ファンドは本資料作成時点で直近1年間の市場価格騰落率がないため、表示していません。
過去5年間の収益率	当ファンドは本資料作成時点で直近1年間の市場価格騰落率が5年分ないため、表示していません。

※損失リスクの内容の詳細は、目論見書のほか、東京証券取引所・有価証券上場規程に基づき、アクティブ運用型ETFの組成会社が作成する「内国アクティブ運用型ETFの商品特性及び管理会社の運用体制等に関する報告書（別紙）」に記載しています。

次のようなご質問があれば、お問い合わせください

- ・上記のリスクについて、私が理解できるように説明してほしい。
- ・相対的にリスクが低い類似商品はあるのか。あればその商品について説明してほしい。

3 費用

本商品の購入または保有には、費用が発生します

購入時に支払う費用（販売手数料など）	国内株式等の売買に係る委託手数料がかかります。
継続的に支払う費用（信託報酬など）	ファンドの純資産総額に対して年0.583%（税抜0.53%）以内 その他の費用・手数料等がファンドから支払われますが、事前に料率・上限等を表示できません。（本資料作成時点）
運用成果に応じた費用（成功報酬など）	ありません。（本資料作成時点）

※購入時に支払う費用は、上場有価証券等書面に記載しています。

次のようなご質問があれば、お問い合わせください

- ・私がこの商品に〇〇万円を投資したら、それぞれのコストが実際にいくらかかるのか説明してほしい。
- ・費用がより安い類似商品はあるか。あればその商品について説明してほしい。

4 換金の条件

本商品を換金する場合、一定の不利益を被ることがあります

- この商品の償還期限はありません。但し、繰上償還等により上場廃止される場合があります。
- この商品を売却する場合には、国内株式等の売買に係る委託手数料がかかります。

※本商品を換金する場合、一般的には、金融商品取引業者等を通じて、取引所市場で売却することになります。

※売却時に支払う費用は、上場有価証券等書面に記載しています。

次のようなご質問があれば、お問い合わせください

- ・私がこの商品を換金するとき、具体的にどのような制限や不利益があるのかについて説明してほしい。

5 当社の利益とお客さまの利益が反する可能性

- この商品は、S M B Cグループのグループ運用会社である三井住友D Sアセットマネジメント株式会社が運用する商品です。
- 当社の営業員に対する業績評価上、この商品の販売が他の商品の販売より高く評価されるような場合はありません。

※利益相反の内容とその対応方針については、当社ホームページ「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」の「④利益相反の適切な管理」をご参照ください。

<https://www.smbcnikko.co.jp/customer/index.html>



次のようなご質問があれば、お問い合わせください

- ・あなたの会社が得る手数料が高い商品など、私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先した商品をすすめていないか。
- ・私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先する可能性がある場合、あなたの会社ではどのような対策をとっているのか。

6 租税の概要

NISA成長投資枠、NISAつみたて投資枠、iDeCoの対象か否かもご確認ください

- 税金は表に記載の時期に適用されます。
- 以下の表は、個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。

時期	項目	税金
分配時	所得税、復興特別所得税及び地方税	配当所得として課税 収益分配金に対して20.315%
売却時および償還時	所得税、復興特別所得税及び地方税	譲渡所得として課税 売却時および償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%
✓NISA成長投資枠	○	✓NISAつみたて投資枠
		×
		✓iDeCo
		×

※当該資料作成時点。最新の対象商品リストは投資信託協会のホームページで公表しています。

https://www.toushin.or.jp/static/NISA_growth_productsList/

7 その他参考情報

販売会社（当社）が作成した「上場有価証券等書面」	組成会社が作成した「目論見書」	組成会社が作成した「アクティブ運用型ETFの商品特性及び管理会社の運用体制等に関する報告書」（※）
https://www.smbcnikko.co.jp/risk/index1.html	https://www.smd-am.co.jp/fund/etf/	https://www.jpx.co.jp/listing/co-search/index.html

※東証上場会社情報サービス→（証券コードで検索）→「基本情報」→「縦覧書類/PR情報」→「その他」の欄において閲覧できます。

上場有価証券等の売買等を行うに当たっての注意事項等をまとめた「上場有価証券等書面」については、ご希望があれば紙でお渡します